

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和 3 年 11 月 30 日

和泉市長 あて

特定非営利活動法人
団体名 いずみの国の自然館 ~~クラブ~~
代表者名 梁取 征弘
所在地
電 話

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	自然観察・自然史科学の普及・自然史資料の収集整理 ・研究出版・環境教育・自然館でのイベント事業
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	_____ 500,000 _____ 円 (うち、対象経費 _____ 500,000 _____ 円)
支援金 交付申請額	_____ 250,000 _____ 円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。

(はい ・ いいえ)

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	イズミノクニノシゼンカンクラブ		
団体名	特定非営利活動法人 いずみの国の自然館クラブ		
団体の目的	広く自然史科学の発展と普及に取り組み、自然史系博物館「いずみの国の自然館」の設立を目指し、市民の自然に対する理解を深めることを目的とする。感動を大切にしながら自然の中で心豊かな暮らしや生き物とふれ合う機会を提供する。		
市内事務所の所在地			
	電 話		F A X
フリガナ	ヤナトリ マサヒロ		
代表者氏名	梁 取 征 弘		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをした ときに対応できる方	(連絡責任者氏名)※		電 話
	フリガナ	ミワ ケンイチロウ	
		三輪 健一郎	F A X
	(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。		
設 立 年 月	2005年 10月	主な活動地域	和泉市内
会報等の発行	有(年 3回発行)・無	会員数	95 人
メールアドレス			
ホームページ	http://www.shizenkan-club.net		
主な事業内容	自然観察（毎月の自然観察会実施）・自然史科学の普及（毎年3回の講習会と講演会）・自然史資料の整理（動植物の調査・市よりの環境調査業務）・研究出版（年3回の会報の発行）・自然館でのイベント（南松尾幼稚園跡地の活用など）・環境教育（観察会でのゴミ拾いなど）		
主な活動の実績	1. 自然観察会は、満16年となり194回、延べ7500人を数える。2. 毎年夏の植物と昆虫の標本作成講習会と名前調べの会、冬の講演会などの実施。3. 年3回の会報発行など。4. 市のSゾーンの環境調査業務。5. 市の24年以降の環境調査業務。		
国・府・市及び 各種団体等から 他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)
	R3	自然環境調査	763,400円
	R2	自然環境調査 ちよいず	704,000円 161,009円
	31	自然環境調査 ちよいず	704,000円 162,076円

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	自然観察・自然史科学の普及・自然史資料の収集整理・研究出版・環境教育・自然館でのイベント事業	
2 申請コース	<input type="checkbox"/> 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース	<input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース
3 事業の必要性（※別紙添付可）		
<p>①事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 活動を始めたのは文科省のいじめ問題や暴力事件の都道府県別発生件数の発表がきっかけであった。子どもたちに関わる悲しい事件が相変わらず多い現状がある。また学校現場では自然遊びの実体験の感動を与える機会が少ない。</p> <p>②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 自然の恵みや生命の大切さを次世代の子供たちに伝え、子どもたちの情操を育むことが最重要課題だと考えています。大人も共に学び遊んで行くことで和泉市の自然の素晴らしさを体感し、安らぐことが出来る。</p>		
4 事業内容（※別紙添付可）		
①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 別紙添付		
②実施期間（日時）	別紙添付	
③実施場所	別紙添付	
④主な対象者	別紙添付	
⑤参加予定者数	別紙添付	
⑥告知方法	市広報、当会HP・FB、口コミ等	
5 事業スケジュール		
次期（月）	内容	
毎月	自然観察会（環境保全課後援）	
毎月	自然館の日（自然館でのイベント事業）	
5月	会報出版	
7月	自然館オオムラサキ祭りとパネル展示 標本作成講習会（昆虫と植物）とパネル展示	
8月	名前調べの会	
9月	会報出版	
1月	会報出版	
2月	講演会	

6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照

(実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)

①公益性	毎月実施の自然観察会は過去3年間月平均36名の参加者があり、自然遊びの講習会・講演会も評判が高い。また和泉市の動植物の調査や資料収集をし、公開している。年3回発行する会報についても、市内各図書館で公開されているだけでなく隣接県の博物館にも贈呈している。観察会では同時にゴミ拾いも実施するなど広く環境教育に努めている。和泉市に生息するゲンジボタルや国蝶オオムラサキを久井町の幼稚園跡地で観察してもらえるようにしている。特にオオムラサキは累代飼育をして増やしており、放蝶出来る段階になっている。以上より、広く自然豊かな和泉市をアピールできる事業になっている。
②継続性	法人としての活動は17年目を迎え、今後も継続的に更に発展できる事業になっている。また小学校での自然教育に広くかかわっており、波及効果が期待できる。当法人の収入については、会費や寄附金、参加費などの事業収入であり、財源確保に努めている。
③実行性	NPO法人として体制は整っており、事業遂行の実行力も問題ない。申請額については、事業計画に基づき毎年適正に申請している。事業内容にあるように、様々な活動を通して、自然の素晴らしさや楽しさをたくさんの方に知ってもらえるよう努めている。
④協働性	すべての活動において協働を求めており、観察会には障がい者施設の団体やこども食堂などの団体も参加している。特に令和元年エコールいずみで実施したオオムラサキ祭では、関係する6団体も参加するなど相互連携を促進している。活動拠点として市からお借りしている幼稚園跡地では、常に地元住民との交流・協力を努めている。
⑤公開性	市の広報や当法人のHP、FBなどで常に情報発信しており、活動のパンフレットも配布している。多くの市民に関心を持ってもらい事業に可能な限り参加して頂けるように柔軟に対応している。
⑥発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	私たちの活動は、和泉市で他に類をみない事業であり、和泉市の特筆すべき自然財産を市民の方々と共有するために提案しています。また令和2年より岸和田の蜻蛉池公園にて、オオムラサキの飼育指導を行っており、広がりを見せる事業となっている。集客性としては、観察会では年間500名以上、一昨年のオオムラサキ祭りの代わりに実施したオオムラサキ手乗り体験では300名程度の来場者があった。

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

自然観察

- ②実施期間（日時）：毎月第3日曜日
- ③実施場所：自然豊かな市内各地
- ④主な対象者：和泉市に住む子ども達と保護者・一般市民
- ⑤参加予定者数：年間500名以上

自然史科学の普及（講習会・名前調べの会・講演会等）

- ②実施期間（日時）：7月第4日曜日・8月第3土曜日・2月第3日曜日
- ③実施場所：シティプラザ多目的室・青葉はつがの小多目的・コミセン等
- ④主な対象者：和泉市に住む子ども達と保護者・一般市民
- ⑤参加予定者数：40名・10名・40名

自然史資料の収集整理

- ②実施期間（日時）：随時
- ③実施場所：市内各地（いずみの国の自然館で公開）
- ④主な対象者：一般市民
- ⑤参加予定者数：不特定多数

研究出版（会報の出版）

- ②実施期間（日時）：4月、8月、12月
- ③実施場所：特になし
- ④主な対象者：近隣博物館、市内図書館、関係各所、一般市民、会員等
- ⑤参加予定者数：特になし

環境教育（自然観察会と並行実施）

- ②実施期間（日時）：毎月第3日曜日
- ③実施場所：自然豊かな市内各地
- ④主な対象者：和泉市に住む子ども達と保護者・一般市民
- ⑤参加予定者数：年間500名以上

自然館でのイベント（オオムラサキ祭・自然館の日）

- ②実施期間（日時）：7月第1日曜日・毎月末日曜日
- ③実施場所：（アムゼ広場）・いずみの国の自然館（旧南松尾幼稚園跡地）
- ④主な対象者：一般市民・近隣市民
- ⑤参加予定者数：500名・年間200名程度

収支予算書

事業の名称： 自然観察・自然史科学の普及・自然史資料の収集整理・研究出版・
環境教育・自然館でのイベント事業

1. 【収入】

(単位：円)

項目	金額	積算根拠
支援金	250,000 円	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	36,000 円	講習会等参加費
	20,000 円	自然館祭り屋台売り上げ
自主財源	194,000 円	
合計	500,000 円	

2. 【支出】

(単位：円)

費目	金額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	30,000 円	講習/講演会講師謝礼（雑費込み）4名分
消耗品費	84,000 円	会報用クリアホルダー・A4用紙・インクトナー等
消耗品費	30,000 円	自然教室にかかる教材購入費
消耗品費	70,000 円	環境教育に係る工具材料費
消耗品費	70,000 円	イベント材料
消耗品費	40,000 円	文房具類
消耗品費	30,000 円	自然館祭り屋台用食材
食料費	6,000 円	イベント準備等スタッフ作業時飲料代
役務費	30,000 円	郵送料・行事保険料
使用料及び賃借料	10,000 円	多目的室・創作活動室等借り上げ料
原材料費	100,000 円	オオムラサキケース作成等
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合計	500,000 円	
対象経費	500,000 円	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。